

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

インフルエンザの感染予防をしましょう。

熊本市でのインフルエンザの報告はまだ少ないですが、これから増加し始め、1月から2月にかけてピークを迎えます。予防対策をしっかり行い、感染を予防しましょう。

《予防対策》

- ①予防接種 インフルエンザの予防接種には、感染後に発病する可能性を低くする効果とインフルエンザにかかった場合の重症化を防止する効果があります。予防接種を受けてから効果がでるまで2週間程度かかるため、早めに予防接種を受けましょう。
- ②手洗い 流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを流し落とす効果があります。意識して長めに手洗いを行いましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗いましょう。手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。
- ③咳エチケット 咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみがでる時は、できるだけマスクをつけましょう。手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。

伝染性紅斑(りんご病)が引き続き警報レベルです！

熊本市の伝染性紅斑(りんご病)の報告数は、昨年11月より、警報レベル(開始基準値2、終息基準値1)が続いています。

伝染性紅斑は、5～9歳の子どもにおいて最も多く、次いで0～4歳の子どもに多く見られる感染症です。微熱やかぜ症状の後に発疹が出て頬が赤くなります。頬がりんごのように赤くなるので、りんご病とも呼ばれています。

咳のしぶきやくしゃみにより感染します。ていねいな手洗いやうがいを行い、感染予防に努めましょう。

期 間		平成27年 第53週		平成28年 第1週	
		12/28～1/3		1/4～1/10	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		18	0.72	12	0.48
RSウイルス感染症		28	1.75	26	1.63
咽頭結膜熱(プール熱)		3	0.19	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		33	2.06	25	1.56
感染性胃腸炎	流行中	74	4.63	117	7.31
水痘(みずぼうそう)		7	0.44	3	0.19
手足口病		1	0.06	0	0.00
伝染性紅斑(りんご病)	警報レベル	27	1.69	51	3.19
突発性発しん		8	0.50	12	0.75
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		15	0.94	29	1.81
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	流行中	11	2.20	27	5.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		4	0.80	5	1.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		10	2.00	3	0.60